



19万人のひろば

八千代市イメージキャラクター「やっち」

ふれあいの農業の郷歩道橋開通式を開催

スマイルデイズ道の駅やちよ店もオープン



▲ひ孫を含め4世代16人が先頭となり行われた渡り初め



▲「お惣菜がいっぱいあって選ぶのが楽しいですね」とスマイルデイズ道の駅やちよ店を訪れた買い物客

おめでとうございます

(敬称略)

■春の叙勲

【旭日中綬章】▶産業振興功労 佐久間國雄(大和田新田)

【旭日双光章】▶保健衛生功労 鈴木紘一(八千代台東)

【瑞宝小綬章】▶防衛功労 芳賀博光(緑が丘)

【瑞宝双光章】▶国土交通行政事務功労 高久雄治(上高野)

▶地方自治功労 水野厚(米本)

【瑞宝単光章】▶鉄道業務功労 渡邊邦男(大和田新田)

■危険業務従事者叙勲

【瑞宝双光章】▶消防功労 山崎春男(島田台) ▶警察功

労 山本孝(高津)

【瑞宝単光章】▶防衛功労 齋藤寛英(大和田新田)

4月25日、やちよ農業交流センターと八千代ふるさとステーションを結ぶ「ふれあいの農業の郷歩道橋」の開通式を開催。約5,100人が来場し、新しくできた歩道橋の開通を祝いました。

テープカットなどの式典に続き行われたのは、市内在住の三世代夫婦2家族を先頭に「橋の渡り初め」。古くからの慣わしであるこの渡り初めは、親子・孫と三代にわたって夫婦とも健在な家族にあやかり、橋も丈夫で長持ちしてほしいという願いが込められています。

渡り初め後は、両施設共催で記念イベントを開

催。とん汁や新鮮野菜の販売のほか、ポン菓子の無料配布や餅投げ、ジャズライブや米本神輿の練り歩きなどが行われました。縁起物の餅投げでは、餅と一緒にお菓子も投げられ、大人も子どもも歓声を上げて手を伸ばしました。

◆スマイルデイズ道の駅やちよ店がオープン

4月21日、ハウス食品が手掛ける「スマイルデイズ道の駅やちよ店」が農業交流センター内にオープン。25日の開通式イベントでは、色とりどりの惣菜や、市内の野菜がたっぷり入った「やちよキーマカレー」を求め、長蛇の列ができました。

市内で出土した墨書土器が全国へ

17点が「発掘された日本列島展2015」に出展

八千代市保品の上谷遺跡から出土した遺物が、文化庁主催の「発掘された日本列島2015(列島展)」に出展されます。列島展は、毎年全国で8,000件ともいわれる発掘調査の中から特に注目すべき遺物や遺構を取り上げ、1年をかけて日本全国を巡回展示するものです。今年度、県内からは唯一、上谷遺跡が選ばれ、17点の出土品が5月末の東京都江戸東京博物館を皮切りに全国5か所で展示されます。お問い合わせは、教育総務課文化財班 ☎481-0304へ。



上谷遺跡とは

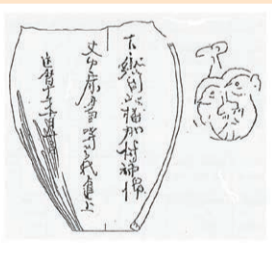
保品(現もえぎ野)に所在する、県を代表する集落遺跡です。標高23~26メートルの台地上に立地し、総面積は11万4,300平方メートル。平成4年度と7年~10年度に発掘調査され、奈良・平安時代の竪穴建物203軒、掘立柱建物194棟などが見つかりました。

◆今回出展される資料は

市指定文化財8点を含む墨書土器11点に加え、人面刻書土器、鉄製鋤先、土器片を転用した硯など上谷遺跡から出土した17点が出展されます。



下総国印旛郡村神郷
丈部 刀自呼召代進上
延暦十年十月廿二日



27年度日本列島展の開催場所と期間

①	東京都江戸東京博物館／ 5月30日(土)～7月20日(祝)
②	富山県埋蔵文化財センター／ 8月1日(土)～9月6日(日)
③	栃木県立博物館／ 9月19日(土)～11月1日(日)
④	岡山県立博物館／ 11月13日(金)～12月23日(祝)
⑤	岩手県立博物館／ 1月14日(木)～2月28日(日)

八千代歌壇

佐波 洋子選

廃屋にひとりの男棲みはじめ三月となれば花植えにけり
(八千代台西) 元村 泰介
核家族極まりていま墓仕舞い散骨という言葉溢るる
(八千代台南) 桑原 慎子
尋ねいし友の飼い猫十九歳チラリ見上げて置き物になる
(ゆりのき台) 池内きよ子
今やもう虫喰いだらけの記憶にも琴線一本薄れず残る
(大和田新田) 諏訪 俊一
老いてゆく惑いをほぐす春の海蒼を湛えて季の香を呼ぶ
(大和田) 有里 侑起
寒晴れの朝日に跳ねる霜柱かすかな地の息整然と留む
(村 上) 新井 豊子
同期会二十年目の指令あり花見もつける名札もつけよ
(米 本) 五味 信雄
寄り添ひて母と眺めし産土の丘の桜の開花待たるる
(大和田) 飯名 好子

選評

一首目、観察の面白さでホッとさせた。「けり」は過去でなく詠嘆的に使って、一件落着いた安堵感を伝える。「花を植え出す」なら今後への関心の継続を暗示。参考に。二首目、現代の核家族の高齢化や継ぐ人がいない墓の事情などを端的に捉えた。散骨は遺言の場合もあるが、墓仕舞いは土に帰るという思想とは別の社会的な問題として注目。三首目、老猫は物憂いのか胆が据わっているのか、結句が面白い。初句は「訪ねゆき」か「訪ねたる」だろう。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

褒め上手本音はいつも腹の底 村上団地 本荘たみこ
雑音に売り買い迷う株価高 勝田台 岡安ゆき義
新人を誉めて持ち上げ繋げ止め 大和田新田 岡村しずか
談話出す固唾をのんで待たれてる 勝田台 田中 隆
さらさら古いと付き合う恨めしや 八千代台西 村松和泉屋
背伸びして見聞きのエリア広がる 勝田台 矢嶋 吉木
新機種は操作不慣れで四苦八苦 勝田台 吉崎瑠璃子
口にした言葉が居場所狭くする 勝田台 宇都 表

八千代市ツイッター
防災情報・緊急情報などを
発信しています



リサイクル・ガイドは7ページに掲載